

#	課題種別	概要	詳細	解決案	喫緊 の優 先度	備考
I2G-1	IMIからGIFへ	表現できないCardinality(カーディナリティ)	GIFでは{1(※1)..1} という定義があるが、IMI語彙記法では記述できない。ここで、1(※1)は複数ある(※1)定義のうち、いずれか一つを必須とするの意	GIFで、本表現を廃止する。 or GIFの改訂：1(※1)は0..nとし、必須項目を別途選定する。 IMI語彙記法の改訂："いずれか一つ"及び"いずれか一つ以上"を表現する記法の追加。	◎	補足資料(1)
I2G-2	IMIからGIF	GIF用のネームスペースが未定義	GIFのデータモデル(項目)を一意のものとして識別するためのネームスペース等が定義されていない	GIF用語の接頭辞pdに対して、ネームスペースを割り当てる	◎	ETC-1と共に解決するのがベスト。詳細資料あり。
I2G-3	IMIからGIF	DCATとDCAT-GoJの仕様差異	メタデータ項目のpublisher(公開者)がDCAT-GoJでは文字列として定義されているが、DCATでは構造化されたものとして扱われている。	GIFメタデータ項目定義の改訂：publisher(公開者)の定義は、文字列の値型として使うのではなく、URI参照かもしくは構造体で示す。 GIFメタデータ項目定義の改訂：publisherについてはDCAT準拠ではないような記載に変更する。	○	今後様々なカタログサイトに影響する可能性あり
I2G-4	IMIからGIF	コアデータモデルからスキーマを生成するツールがない	今後のメンテナンス等のために、コアデータモデルからスキーマを生成するツールが必要。	GIFのDMDのExcel一覧（438_コアデータモデル_DMD.xlsx）からIMI語彙記法によりimivを作成し、各種スキーマを生成可能とする。	○	補足資料(2) GIFのスキーマについては2023年度末に公開予定
I2G-5	IMIからGIF	GIFの連絡先と個人連絡先等の表現が異なる	GIFの個人連絡先はGIFの連絡先を暗黙的に継承しているが、純粋な継承とは異なるため、概念とスキーマの生成が困難。	GIFのデータモデルの見直し？	○	補足資料(2)
I2G-6	IMIからGIF	用語"DMD"の指すものがGIFとIMIで異なる	どちらも、Data Model Description の略だが、GIFでは表形式にまとめられたデータ項目の解説書を指し、IMIではDMD仕様に基づいたデータモデル記述を指す。	DMDという言葉が一般的な用語となっているのであれば、IMIのDMDを、IMI-DMD等と呼ぶことにしてはどうか？	○	
G2I-1	GIFからIMI	GIF用の語彙を定義すると簡易性が損なわれる	GIFはコア語彙を参考に現実に即したわかりやすい独自のデータモデルを定義している。IMIの語彙はコア語彙を継承して作成する必要があるため、GIFの用語をIMIの語彙として定義してGIFを表現すると、GIFが目指していると思われる簡易性が損なわれる。	コア語彙を辞書として位置付け：GIFからはコア語彙の用語を辞書的に紐づける IMI語彙の考え方の改訂：コア語彙継承を必須としない語彙定義の許容	◎	補足資料(3) 補足資料(4)
G2I-2	GIFからIMI	GIFとIMIのコア語彙に類似する定義があり混乱が生じている	GIFには”法人”というコアデータモデルがあり、IMIには“法人型”という語彙があるなど。	コア語彙を辞書として位置付け：GIFからはコア語彙の用語を辞書的に紐づける		補足資料(4)
G2I-3	GIFからIMI	GIF用語彙の認証ができない	コア語彙以外の語彙をIMIに準拠している語彙として認証する仕組みがない	語彙認証プロセスの確立。「共通語彙基盤の策定及び管理手続き」の改訂と有効化。	△	
GIF-1	GIF	コアデータモデルDMD(Excel)の項目形式の変更	GIFコアデータモデルからimivを作成するために、GIFにおけるDMD(Excel)に定義されている項目の形式を変更することが望ましい。	GIFにおけるDMDのExcel一覧（438_コアデータモデル_DMD.xlsx）の形式の詳細化検討、何桁、数値範囲等。。スキーマ上の型も同時に検討。各スキーマの有識者が必要。（必要なスキルセットが特殊なため別立て管理も検討）	△	補足資料(2)

#	課題種別	概要	詳細	解決案	喫緊 の優 先度	備考
GIF-2	GIF	コアデータモデルDMD(Excel)へのデータモデル情報の付与	GIFコアデータモデルのDMD(Excel)にデータモデルとしての情報(クラスの英語表記、クラスの説明等)を付与することが望ましい	GIFにおけるDMDのExcel一覧（438_コアデータモデル_DMD.xlsx）にデータモデルの情報として、クラスの英語表記、クラスの説明等を一覧のシートとして追加する	○	補足資料(2)
GIF-3	GIF	コアデータモデルDMD(Excel)の項目説明変更	GIFコアデータモデルのDMD(Excel)の項目形式やデータモデル情報付与に伴い、項目説明(英語)についても変更することが望ましい。	GIFにおけるDMDのExcel一覧（438_コアデータモデル_DMD.xlsx）の説明の英語版の作成も検討	△	補足資料(2)
IMI-1	IMI	語彙やデータモデルを公開する場の維持管理	IMIはimi.go.jpサイトにて公開の場を一応持っているが、24/7の稼働が行えていない。また、今後語彙が増えていった場合の公開の場が整備されていない	外部サービス等の利用による場の確保と、維持管理体制の構築。「共通語彙基盤の策定及び管理手続き」の改訂と有効化。	△	
IMI-2	IMI	語彙として定義する用語の基軸	現在コア語彙で用いている用語の基軸としては日本語文字列を用いているが、GIFでは英語を基軸としている。日本語だと実装者に対する受け入れ障壁があり、利用が難しくなる。	コア語彙の用語を英語表記した英数字を基軸とするか、用語の表す概念にIDを付与してIDを基軸として再定義する	◎	補足資料(5)
IMI-3	IMI	IMIサイトの主管・役割分担が整理できていない	IMIツールの管理公開組織が現状不明確。また、現在はデジタル庁がドメインオーナーとなっているが、これは独法のドメイン保有ルールとしての制限によるものであって、実態とは異なっている。	IMIサイトの役割分担やサイトのドメイン名の再検討を実施し、検討結果に合わせた実装を行う。	○	補足資料(6)
ETC-1	その他	語彙等の接頭辞を国際的に確保	現在w3idにより"Permanent Identifiers for the Web"として、idが管理され始めている。IMIやGIFで利用する接頭辞を早急に確保しておく必要がある。	w3idへ各種接頭辞を登録。なお、icは他者からすでに確保されているため、検討が必要。	○	